

C105

らんがき

おまけ本



もちんち

この本は既刊
「悪い子鳳翔」の
続き(?)的な物です

あらすじ
悪い男たちに
脅され今日も
鳳翔さんは仕方なく
男たちの要求に
従います

本日はこちらの
遅い〇〇さんに

男に用意された
脚本を
声に出して
カメラの前で
読み上げる

わ：私の
オマンコを
開発していただきます

ど…どうか
ご覧になる皆さんも
私のいやらしい
ケダモノセックスを
お楽しみください

男が立ち上がり
私の前に股間を
突き出す

無言で立つ男に
言われるでもなく
自分から…

男の股間の布をズリ下す

ぶるんと
勢いよく
男根が勢いよく
突き立つ

眼前に立つ
凶惡な逸物に
自分が飄られ
弄ばれる姿を
思い浮かべ

胸の奥が
潰れるような
絶望感と
奇妙な高揚感が
押し寄せる

あ...
ま...
う...
う...

ダメ
入ってきちゃ...
めい...

ぐぐ...

うっ...ああ...♡♡

あ...ぐう...
イッ...♡♡

は...

ああ...

必死に
抵抗しようとするが

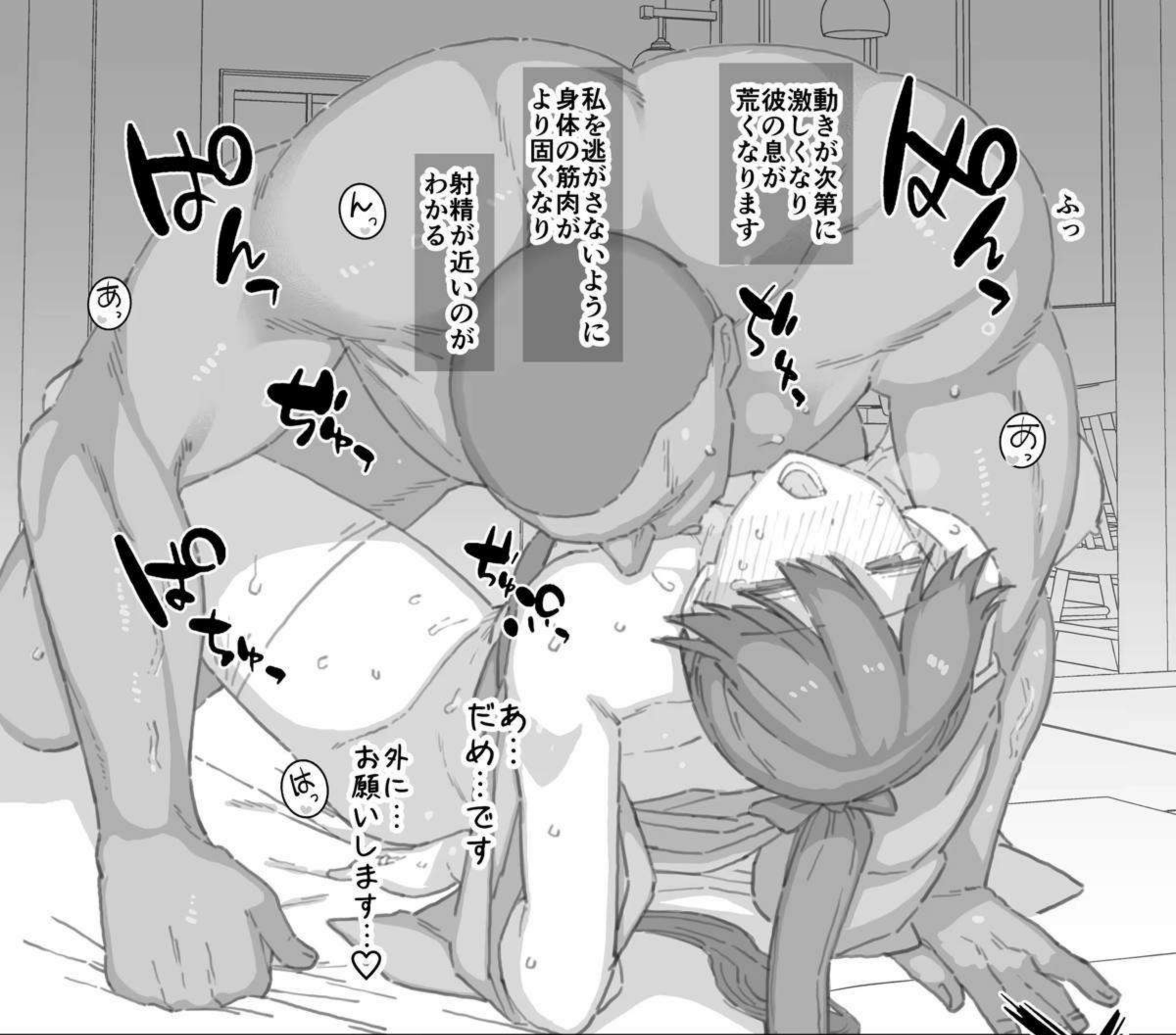
力を込めても
その抵抗も楽しむように
男は肉穴に
挿入をしてくる

奥に奥に

自分でも
信じられない程
己の小さな穴に
男の巨大な肉棒を
体の巨中に飲み込み
受け入れる

ず ぽ...

ん...



動きが次第に
激しくなり
彼の息が
荒くなり
ます

私を逃がさないように
身体
の筋肉が
より固
くなり

射精が近いのが
わかる

んっ

ふっ

おん

あ

ん

ん

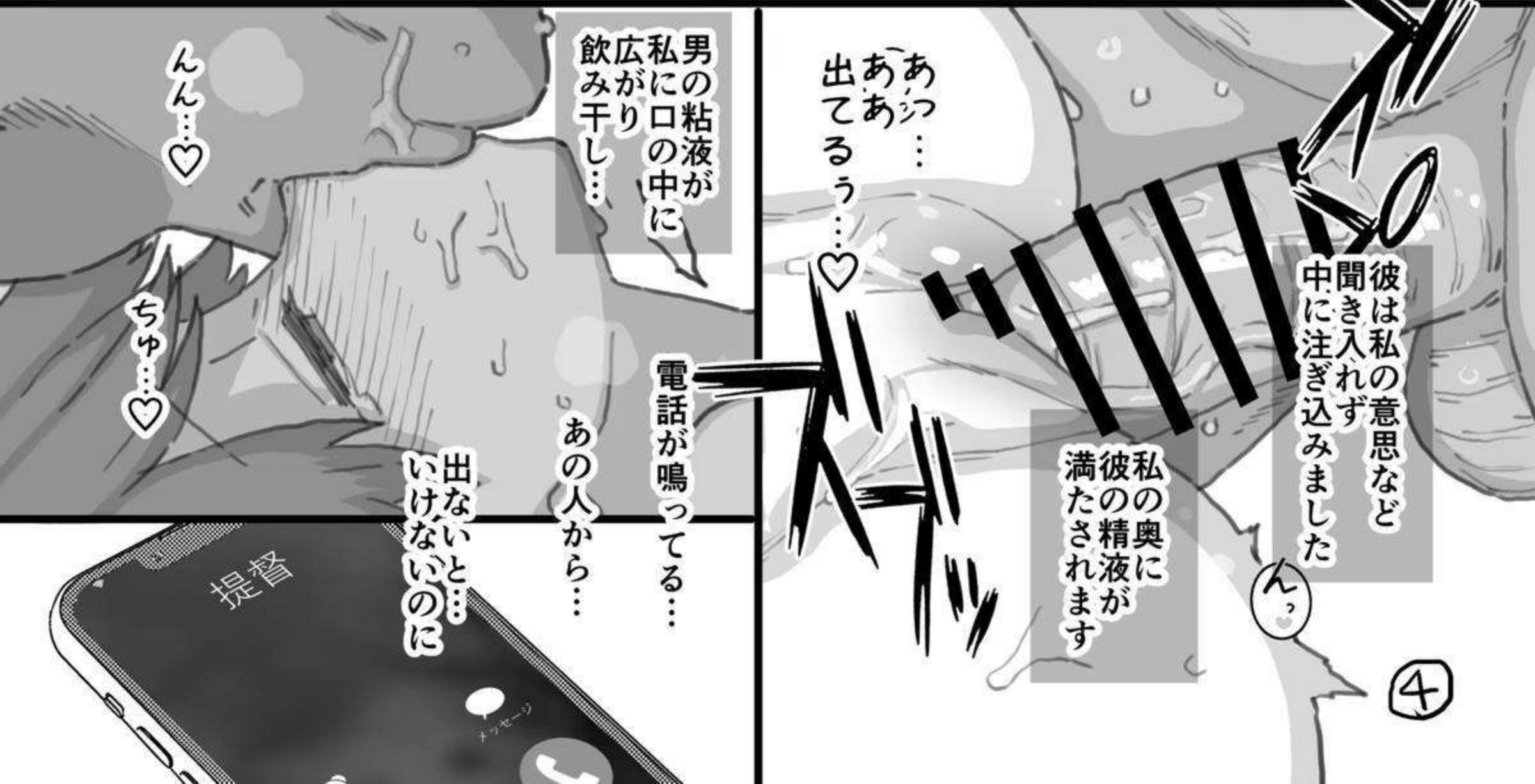
ん

ん

あ……
だめ……です

外に……
お願い……します……♡

は



彼は私の意思など
聞き入れず
中に注ぎ込みました

私の奥に
彼の精液が
満たされます

あ……
あ……
出て……る……♡

男の粘液が
私に口の中に
広が……り
飲み干……し……

電話が鳴……つ……て……る……

あの人から……

出……ない……と……い……け……ない……の……に……

ん……♡

ん……♡





今日は…
駄目です…

本日
休みます

予約の
お客さんが…

男は翌日も
私の前に現れ
私やお店の都合など
関係ありません

お店…お休みに
なっちゃう…
だめえ…

ただ性欲を
満たすために
私を使います

いつでも
お使いいただけ
る肉便器です…♡

早く解放されるため
男を喜ばせる事を
考えて

普段しない
下品な言葉を
必死に引き出し
口にする

んん…

男に抱えられ
全てをさらけ出す
姿勢で

膣に直接
 体重をかける
 ように上下に
 ストロークする

あ：○の
○さん
か：の
：高
千二ポ：が
心

私の…気持ちいい所に
当たってます…♡♡

男の仲間が現れ
私と一緒に闘る

がっしりと足首をつかまれ
固定され
前と後ろから
攻められる

私は……おちんちんで
いっぱい……おちんちんで
セックスするの……
好きです……♡♡

心にも無い
言葉を言わされ

男に道具のように
犯される

ど……どうか
私の小さな蜜穴に
精液を注いでください♡



あつ…
出てる…♡

あ♡♡♡
イミ…♡♡♡

あ、ん

ヒルル
ヒルル

これが…
私の日常…♡

みんなに…
あの人に知られたら
私…